

科目名	都市防災論	英語科目名	Urban Disaster Mitigation
開講年度・学期	平成28年度前期	対象学科・専攻・学年	専攻科建築学コース 1・2年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2単位	単位種類	学修単位（講義A）
担当教員	横内基	居室（もしくは所属）	建築学科棟3階
電話	内線837	E-mail	yokouchi@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
	④	D	d-1
	④	D	d-1
1. 都市防災、建築防災対策を実施するうえで、考慮しなければならない事項を説明できる。	④	D	d-1
2. 建築物の耐震診断・耐震補強、都市の地震被害想定、都市防災計画、防災教育の手法について説明できる。	④	D	d-1
3. 地域の防災リーダーとして必要な知識を説明できる。	④	D	d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1－3：定期試験，自学自習課題等の提出物，授業におけるプレゼンテーションによって評価する。			
評価方法			
達成目標1－3：定期試験による点数を70%，提出物を20%，プレゼンテーションを10%で評価する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. ガイダンス	東日本大震災、阪神淡路大震災で起こったこと整理		4
2. 近年の自然災害	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
3. 自然災害のしくみと被害、対策	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
4. 自然災害のしくみと被害、対策	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
5. 耐震診断と補強	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
6. 災害とライフライン、交通インフラ、災害医療	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
7. 行政の災害対応、避難と避難所運営	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
8. 災害復旧と支援制度 災害とボランティア活動	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
9. 緊急救助技術	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
10. 防災拠点の施設計画と救急救命	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
11. 災害情報と災害報道	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
12. 公的機関による予警報 被害想定・ハザードマップと避難行動	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
13. 都市防災の特徴/災害と危機管理	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
14. 企業防災と事業継続計画/災害と損害保険	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
15. 地域の再建と復興	講義内容の復習及び次週プレゼンテーションの準備		4
定期試験			
自学自習時間合計			60
キーワード	自助、共助、公助、互助、防災・減災		
教科書	日本防災士機構：防災士教本		
参考書	梶秀樹, 塚越功著「都市防災学」学芸出版社		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築耐震構造		
現学年の関連科目	まちづくり論、地域設計1, 2、鉄筋コンクリート構造論、鋼・合成構造論		
次年度以降の関連科目	建築耐震設計論		
連絡事項			
授業は、課せられた課題に対するプレゼンテーションを学生が行い、それを足掛かりにみんなで考える方式で行う。			
シラバス作成年月日	平成28年2月23日作成		